

今週（10月27日から10月31日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コール市場O/N物は、前週に引き続き調達ニーズが強く、出合い水準は0.47%台の横ばい圏での推移となった。加重平均レートは27日(月)～29日(水)までは0.477%、30日(木)は0.476%となり、31日(金)も概ね同水準でのレート推移となった。

ターム物については、ショートタームを中心に、0.5～0.6%程度で出合いが散見された。

日銀当座預金は、27日(月)に498兆円程度でスタートし、週を通して大きな増減はなく、概ね横ばい圏での推移となった。

また、29日(水)、30日(木)に開催された金融政策決定会合では、当面の金融政策運営について現状維持とすることが決定され、無担保コールレート(オーバーナイト物)は0.5%で据え置きとなった。

●債券レボ市場

今週のGC O/N物は、0.45～0.505%近辺で推移した。

SC取引の個別銘柄では、カレント近辺の銘柄に引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが堅調に推移した。

31日(金)に実施された3M物入札は強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産、食料品、卸売業などの業態から大型発行が見られた。

市場残高については、引き続き24兆円前後の横ばい圏で安定的に推移した。

発行レートについては、金融政策決定会合を挟み、投資家の運用目線にばらつきが見られ、日銀適格銘柄の1M程度で0.5%台前半～0.6%台半ば、2Mで0.5%台後半～0.6%台半ば、3Mで0.6%台後半～0.7%後半と、ワイドレンジでの推移となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/27 (月)	50,512.32	1.670	152.96	0.477	0.499	4,978,000
10/28 (火)	50,219.18	1.640	152.50	0.477	0.496	4,979,200
10/29 (水)	51,307.65	1.650	151.60	0.477	0.495	4,987,900
10/30 (木)	51,325.61	1.645	152.69	0.476	0.481	4,989,200
10/31 (金)	52,411.34	1.655	153.98	0.477	0.497	4,977,100

来週（11月3日から11月7日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
11/3 (月)	文化の日				10月のISM製造業景況指数 9月の米建設支出
11/4 (火)					9月の米貿易収支 9月の米製造業新規受注・出荷・在庫
11/5 (水)	金融政策決定会合議事要旨(9月18,19日分 8:50) 10月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10 Y 11/6発行 26,000億円	交付税借入 11/14借入 13,000億円		10月のISM非製造業景況指数
11/6 (木)	9月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 11月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	TDB 6M 11/10発行 35,000億円			英中銀MPC 9月の米卸売売上高
11/7 (金)	9月の全世帯家計調査(総務省 8:30)	TDB 3M 11/10発行 43,000億円	流動性供給 11/10発行 6,500億円	エネルギー借入 11/20借入 6,417億円	10月の米雇用統計 11月のミシガン大消費者信頼感指数速報 9月の米消費者信用残高

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/3 (月) 日銀予想									
11/4 (火) 日銀予想	▲ 300	▲ 27,900	▲ 28,200	国債補完	1,600		1,600	▲ 26,600	2Y発行△27,000償還16,100 TB3M発行△43,000償還43,000
11/5 (水) 弊社予想	1,300	▲ 9,000	▲ 7,700				0	▲ 7,700	消費税・法人税揚げ 年金・労働保険料揚げ 普通交付税払い 交付税借入△13,000償還11,000
11/6 (木) 弊社予想	200	▲ 26,000	▲ 25,800				0	▲ 25,800	10Y発行△26,000
11/7 (金) 弊社予想	200	0	200				0	200	
週間合計	1,400	▲ 62,900	▲ 61,500	—	1,600	0	1,600	▲ 59,900	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.45～0.51%程度での推移が予想される。短国市場は、6日(木)に6M物、7日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場では、12月の決定会合後に期日がくる物や、年末越え物などの発行動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、5日(水)に金融政策決定会合議事要旨(9月18,19日分)、6日(木)に9月の毎月勤労統計調査速報、海外では、3日(月)に10月のISM製造業景況指数、4日(火)に9月の米貿易収支、5日(水)に10月のISM非製造業景況指数、6日(木)に英中銀MPC、9月の米卸売売上高、7日(金)に10月の米雇用統計などが予定されている。
(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入